

泉鋼業(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 昭和36年に創業。長年にわたり、「誠実で、チャレンジングな、ものづくり」の理念のもと、中小型船舶に搭載される貨物ガスタンクの製造を行ってきた。
- 主な貨物の対象であるLPG用のガスタンクのほか、エチレンやアンモニア用のガスタンクも製造しており、高品質な製品とアフターサービスについて船主や海運業者等からも高評価を得ている。
- 近年では、国際海運のカーボンニュートラルに向けた世界的な動きを踏まえ、ゼロエミッション船の建造に寄与する燃料タンクの生産にも取り組む。



計画の概要

- アンモニア燃料タンクの開発・生産を進める。具体的には、新たに設備投資を行い、中型バルクキャリア用のアンモニア燃料タンクを年間10基生産可能な体制を構築する。
- 具体的には、生産工程の効率化のため第二製缶工場の増築をするほか、アンモニア燃料タンクの製造に不可欠な防熱処理専用の防熱工場の新築、耐圧試験場の新設するなどの設備投資を行う。

<計画実施期間> 2025年4月～2030年3月

<実施場所> 泉鋼業(株)(香川県高松市)



従来のアンモニア貨物タンク



設備投資のイメージ